

軌跡60年

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1946年 昭和21年	5	未亡人生活相談大会が開催される		
1947年 昭和22年			5 12	県厚生課によって未亡人実態調査が行われる 「児童福祉法」公布
1948年 昭和23年	8	未亡人会が誕生し、鹿児島県母子連盟と命名される 橋野ハル子氏が会長に就任す		
1949年 昭和24年	1 4 6	行政との懇談会（知事・総務課長他16名が参加） 共同募金より15万円の助成金を受ける 天皇陛下仁風寮に御巡幸、市町村代表者拝観の栄に浴する	1 5 8 10	厚生省発表、全国の未亡人数約1,877,161人 未亡人ならびに戦没者遺族の福祉に関する国会決議 未亡人代表者協議会開催 母子福祉対策国会議員連盟発足 全国母子世帯一斉調査 母子福祉対策中央協議会結成
1950年 昭和25年	4 12	県条例により母子福祉資金援護法成る（予算880万円） 共同募金会を通じて助成金15万円を受ける 鹿児島県母子連盟自主解散	3 4 5 7 11	全国未亡人代表者会議 県社会福祉協議会発足 「生活保護法」公布施行 第1回九州ブロック代表者会議 全国未亡人団体協議会結成大会 涌井まつ初代会長、山高しげり初代事務局長
1951年 昭和26年	6	県婦人会の中に未亡人対策委員会が結成される 野村シゲル氏が委員長に就任 県婦人会より9万円の助成金を受ける	3 5 10	「社会福祉事業法」公布 全国母子福祉対策協議会発足 福祉事務所制度発足
1952年 昭和27年	4	県婦人会より13万円の助成金を受ける	7 9 11 12	全国地域婦人団体連絡協議会結成（理事長山高しげり） 厚生省による全国母子世帯調査の実施 全未協主催第1回全国母子福祉大会 母子相談員制度新設 「母子福祉資金貸付等に関する法律」制定
1953年 昭和28年	1 4	九州ブロック代表者会議を鹿児島県にて開催 鹿児島県母子福祉大会を県婦人会主催にて開催（旭文化ホール）講師は全未協事務局長の山高しげり氏（昭和46年まで毎年総会大会となる） 県婦人会より20万円の助成金を受ける	3 4 11 12	日本遺族会結成 日本婦人団体連合会結成（会長平塚らいてう） 法制定記念事業母子福祉センター「全未の家」開所（東京・世田谷） 奄美群島返還に関する日米協定調印
1954年 昭和29年	2 5 8	県婦人会主催による母子福祉大会を開催（旭文化ホール） 鹿児島県母子福祉連絡協議会結成式を開催（千歳旅館） 県婦人児童課内に仮事務所を設置、会長奥田ノブ氏、副会長田中イキ氏、書記楠元静子氏、会計有馬光子氏、事務職員野村シゲル氏 共同募金会より10万円、県婦人会より18万円を受ける 第1回鹿児島県母子福祉連絡協議会指導者講習会開催	5 6 10 11	「厚生年金保険法」公布 九州ブロック代表者会議（長崎県） 全国母子寡婦福祉団体協議会財団法人認可 全国母子福祉大会（東京・共済会館）

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1955年 昭和30年	2	第1回鹿児島県母子福祉大会を開催（旭文化ホール）	4	第1回新生活運動母子福祉指導者研修会（東京・日本女子会館）
	4	事務局を自治会館3階に移転 内職相談所を開設 県の委託を受けて内職指導者講習会を各地で開催 母子家庭数 41,500		全国社会福祉協議会（全国社会福祉協議会連合会改組）設立
	5	鹿児島県母子福祉連絡協議会総会を開催（自治会館ホール）	5	第1回全国母子家庭のど自慢優勝大会（東京・日比谷公会堂）以後昭和38年まで開催
	9	市町村母子会未亡人部長研修会を開催（県職員研修所）	6	第1回日本母親大会
			10	九州各県会議を宮崎県で開催
			11	結成5周年記念全国母子福祉大会（港区公会堂）
1956年 昭和31年	2	第1回九州地区大会ならびに鹿児島県母子福祉大会（山形屋ホール）講師は全未協事務局長山高しげり氏	5	母子福祉償還貯蓄組合の設置、県内68組合
	5	県母子福祉連絡協議会総会を開催（山形屋ホール） 県会長改選、入鹿山フヨ氏第2代会長	6	母子福祉供養塔除幕式（高野山） 母子年金法案特別委員会設置
	9	県母子福祉連絡協議会研修会（県職員研修所）	8	全国母子世帯調査（厚生省）
			11	全国母子福祉大会（東京・共済会館）
1957年 昭和32年	2	県母子福祉大会（旭文化ホール）	2	中村尧子会長就任
	5	県母子福祉連絡協議会総会	4	九州地区母子福祉大会（佐賀県）
	9	県母子福祉連絡協議会研修会	11	全国母子福祉大会（東京・豊島区公会堂）
1958年 昭和33年	5	県母子福祉連絡協議会総会を開催（県遺族会館） 会長改選、奥田ノブ氏第3代会長	4	九州地区母子福祉大会（宮崎県）
	8	県母子福祉連絡協議会研修会（自治会館ホール）	9	西日本母子福祉大会（中国、四国、九州、近畿合同 広島県）
			10	全国母子福祉大会（東京・豊島区公会堂）
1959年 昭和34年	2	県母子福祉大会（自治会館ホール）	4	母子寡婦年金及び母子福祉年金制度創設
	5	県母子福祉連絡協議会総会（県婦人会館）	11	全国母子福祉研究集会（東京・社会事業会館）
1960年 昭和35年	3	県母子福祉大会	2	九州地区福祉団体貯蓄推進協議会（宮崎県）
	5	県母子福祉連絡協議会を開催（自治会館） 会長改選、大川八重氏第4代会長	5	九州地区母子福祉大会（長崎県）
	8	県母子福祉連絡協議会研修会（県婦人会館）	7	「母子福祉資金貸付等に関する法律」公布
			11	全未協創立10周年記念全国母子福祉大会（東京・日比谷公会堂）
1961年 昭和36年	3	県母子福祉大会並県のど自慢コンクール（実践高校）	3	創立10周年記念事業「お母さん貯金旅行」発足
	5	第7回全国母子家庭のど自慢コンクール（東京）にて下野きみ子氏（日吉町）1位優勝 歌曲「燃える鹿児島」	5	九州地区母子福祉大会（熊本県）
	6	県母子福祉連絡協議会総会（実践高校）	8	全国母子世帯調査（厚生省）
	8	県母子福祉連絡協議会研修会（県婦人会館）	10	全国母子福祉研究集会（東京・久保講堂）
			11	「児童扶養手当法」制定
1962年 昭和37年	3	県母子福祉大会並県のど自慢コンクール（実践高校）	1	児童扶養手当の支給開始
	4	会名を鹿児島県未亡人団体協議会と変更	5	九州地区母子福祉大会（福岡県）
			9	山高しげり氏参議院議員繰上げ当選
			10	全国母子福祉大会（東京・日比谷公会堂）
1963年 昭和38年	3	県母子福祉大会（実践高校）	5	九州地区母子福祉大会（大分県）
	4	県社会福祉会館内に食堂を委託経営	7	「老人福祉法」公布
			8	全国戦没者追悼式（以降毎年）
			10	全国母子福祉研究集会（東京・久保講堂）

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1964年 昭和39年	2	県社会福祉会館4階に母子福祉センター竣工 (事務局移転)	2	第1回県婦人の集いを開催(県婦人会館)
	5	九州地区母子福祉大会を県体育館で開催 (参加者 県外1200名、県内2500名) 講師全未協理事山高しげり氏、鯉淵鮎子氏	4	全国一斉に東京オリンピック記念販売協力 (メダル等を販売)
	12	県社会福祉会館内の食堂閉鎖	7	「母子福祉法」制定
1965年 昭和40年	4	沖縄県お母さん旅行団と交歓会	10	オリンピック東京大会
	5	本会の社会福祉法人が認可され、社会福祉法人白百合 福祉会と改名	11	全国母子福祉大会(東京・日比谷公会堂)
	6	県母子福祉協議会総会を県消防会館にて開催 県たすけあい資金制度始まる、300万円、内職技術指 導費50万円を母子福祉対策指導費と改め委託費を受く	7	山高しげり氏参議院議員再選
1966年 昭和41年	4	県母子福祉大会	8	「母子保健法」制定
	11	県文化センター売店設立許可	9	九州地区母子福祉大会(宮崎県)
			11	全未協創立15周年記念全国母子福祉大会 (東京・日比谷公会堂)
1967年 昭和42年	2	県母子福祉大会(消防会館)	3	「全未協通信」発行(1970年7月第18号まで)
	8	夏季幹部研修会(県婦人会館)	4	堀内八重野会長就任
			9	九州地区母子福祉大会(長崎県)
1968年 昭和43年	4	県補助金96万円、たすけあい資金800万円	12	全国母子福祉研究集会(東京・久保講堂)
	6	県母子福祉大会(自治会館)	4	守田厚子会長就任、山高しげり理事長就任
			7	鯉淵鮎子事務局長就任
1969年 昭和44年	3	県母子福祉大会(自治会館)	8	全国母子世帯実態調査515,300世帯
	4	県補助金110万円、たすけあい資金1000万円に増額	11	全国母子福祉大会(東京・久保講堂)
	10	寡婦福祉資金貸付を実施	3	九州地区母子福祉大会(熊本県)
1970年 昭和45年	11	母子家庭子女の職場訪問(阪神方面3名) 大川会長が母子福祉功労者として厚生大臣より表彰	10	九州地区母子福祉指導者研修大会(福岡県)
	3	県母子福祉大会(自治会館)	11	全国母子福祉大会(東京・久保講堂)
	4	県補助金ならびに事業委託金110万円	5	全国社会福祉協議会初の父子家庭実態調査の結 果をまとめる
1971年 昭和46年	11	石川県母子福祉会来県 母子家庭子女の職場訪問(愛知方面3名) 野村しげる氏母子福祉功労者として厚生大臣より表彰	10	九州地区母子福祉指導者研修大会(大分県)
	1	フクシ株式会社の物品販売取り決め	11	全未協創立20周年記念全国母子福祉大会 (東京・浅草国際劇場)
	3	母子家庭子女の職場訪問を中止し、母子家庭の児童小 学校入学祝品贈呈を決定(県補助事業)	3	全国母子寡婦家庭指導者研修会 (東京・日本女子会館)
1972年 昭和47年	4	県補助金ならびに事業委託金210万円	5	「児童手当法」制定
	11	第1回母子運動会を県身障者更正指導所にて開催 (980名参加)	10	九州地区母子福祉大会(鹿児島県文化センター)
			12	全国母子福祉研究集会(東京・久保講堂)
			1	児童手当制度発足
			7	「勤労婦人福祉法」公布
			10	九州地区母子福祉指導者研修大会(宮崎県)
			12	全国母子福祉大会(東京・日比谷公会堂)

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1973年 昭和48年	4	県補助金ならびに事業委託金 241 万円 母子世帯医療費公費助成実施（薩摩郡入来町）	5	母子家庭及び寡婦自立促進対策事業実施要項
	7	大川八重会長死去（9日）、会長代理に鮫島ツテ氏就任 第1回自立促進事業実施、家庭奉仕員、調理師・補助員養成講習（23名）	8	全国母子世帯等実態調査 626,200 世帯
		第2回母子寡婦大運動会（鴨池補助グラウンド）	9	「児童扶養手当法」改正
	11		10 九州地区母子福祉大会（長崎県） 11 全国母子福祉研究大会（東京・久保講堂）	
1974年 昭和49年	1	鮫島ツテ氏第5代理事長となる	10	母子家庭介護人派遣事業制度新設
	4	県補助金ならびに事業委託金 300 万円、たすけあい資金 1200 万円 母子世帯医療費公費助成、出水郡東町（県内2町）	11	九州地区母子福祉研究集会（熊本県） 全国母子福祉大会（東京・中野サンプラザ）
	5	役員改選により黒武者キミ子氏第6代理事長就任 県婦人会より独立する		
		第1回お母さん旅行実施、沖縄へ32名参加		
	8	第1回母と子の中央交歓会		
	11	第3回母子寡婦大運動会（鴨池補助グラウンド）		
12	理事5名が知事を訪問（母子福祉対策について陳情）			
1975年 昭和50年	4	県補助金ならびに事業委託金 500 万円、たすけあい資金 2000 万円 鴨池港売店を開始 定款に基づき評議員会で業務報告を行うこととする	6	「国際婦人年」世界会議（メキシコ）
	5	お母さん旅行（四国）	7	「育児休業法」成立
	11	第4回母子寡婦運動会（長田中学校）	9	九州地区母子福祉大会（福岡県）
			11	全未協創立25周年記念全国母子福祉大会（東京・明治座） 国際婦人年日本大会開催
1976年 昭和51年	4	県補助金ならびに事業委託金 7,248,000 円、たすけあい資金 4000 万円	6	「児童扶養手当法」改正（支給対象の拡大、3年計画で段階的に18歳未満に拡大）
	5	お母さん旅行（山陰）	9	遺族年金に寡婦加算制度創設
	8	第1回地区母と子の交歓会を実施、鹿児島県各地区キャンプ（県下23地区）	10	九州地区母子福祉大会（福岡市）
	10	第1回フクシ衣料展示会（鹿児島市翠園閣）	11	全国母子寡婦福祉研究大会（東京・久保講堂）
	11	第5回母子寡婦運動会（鴨池補助グラウンド）		
1977年 昭和52年	1	第1回母子家庭研修会を自治会館にて開催	4	寡婦等雇用実態調査
	4	県補助金ならびに事業委託金 850 万円、たすけあい資金 4000 万円	5	「全未協月報」発行（1985年1月第86号まで）
	6	県社会福祉センター5階に事務局が移転する	10	九州地区母子福祉研究大会（佐賀県）
	7	お母さん旅行（長崎県平戸）	11	理事長山高しげり氏逝去（13日） 全国母子寡婦福祉大会（東京・久保講堂）
	9	母子・父子家庭介護人派遣事業制度実施、介護人を会員の中から選出、介護人対象者とともに県へ登録する 母子会10年後のビジョンについて、行政側と若い母との懇話会を開く 県白百合福祉会が厚生大臣より感謝状を受く	12	母子家庭および寡婦の雇用奨励金制度の新設（国の制度） 母子家庭および寡婦の職業訓練手当制度の新設（国の制度）
	11	母子寡婦福祉大運動会（鴨池補助グラウンド）		
	12	第1回母子家庭リーダー研修会、県婦人会館にて1泊2日の2回にわけて実施 大島地区母子福祉会結成される		
	1978年 昭和53年	4	県補助金ならびに事業委託金 850 万円、たすけあい資金 5000 万円となる	1
			8	全国母子世帯等調査（厚生省）

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1979年 昭和54年	4	寡婦生きがい対策事業を開始、本年度より各地で実施、調理講習、民謡教室等（54会場）	9	九州地区母子寡婦福祉大会（大分県）
	5	市町村幹部研修会を県婦人会館で開催（150名参加） お母さん旅行（高野山・奈良方面） 創立25周年記念事業として、文集「私たちの歌が聞こえる」の原稿を募集	11	全国母子寡婦福祉研究大会（東京・久保講堂）
	7	市町村会長会（県福祉センター）		
	8	「私たちの歌が聞こえる」の原稿165篇が集まる、その中から75篇を選入し、発行		
	9	「私たちの歌が聞こえる」の入選者がテレビ出演する（MBC「奥様ワイド」）		
	10	市町村会長会（県福祉センター）		
	11	母と子の大運動会（鴨池競技場）		
	12	鹿児島県「母子会だより」第1号を発行、全会員に配布する（年2回発行）		
	1	「私たちの歌が聞こえる」出版祝賀会を城山共済会館にて開催（180名参加） 自立促進事業として特別相談事業を実施（県下各福祉事務所管内）	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（北九州市）
	2	社会福祉法人鹿児島県母子福祉連合会に会名を変更	11	全国母子寡婦福祉大会（東京・久保講堂）
	4	県補助金ならびに事業委託金55,580,000円		
	5	創立25周年記念母子福祉大会開催（中央公民館）		
6	お母さん旅行（北海道）			
7	京都市山延企業グループ社主山元憲一氏より100万円の寄付を受く			
9	自立促進事業に和裁講習を加える（吉井式和裁教室、第1回は20名が参加、鹿児島市で実施） 「鹿児島県母子会の歌」と「鹿児島県母子音頭」を作成、レコードを出す			
11	母と子の大運動会（鴨池競技場） 野村シゲル氏県民表彰			
1980年 昭和55年	2	県母子寡婦福祉大会	4	私立高校授業料軽減補助制度新設（県単事業） 独居寡婦介護人派遣事業の開始、母子家庭介護人派遣事業に追加される
	4	県補助金17,070,000円、事業委託金85,440,000円 日中友好婦人の翼に7名参加 和裁鹿児島市教室20名で開催（4月～7月の毎月日曜日）	11	全未協創立30周年記念全国母子寡婦福祉大会（東京・明治座）
	6	お母さん旅行（高千穂峡）		
	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会を開催（鹿児島市） 「鹿児島県母子音頭」振付講習会を県青少年会館で開催、講師永田明子氏（120名参加）		
	11	母と子の大運動会（吉野公園）		
1981年 昭和56年	2	県母子寡婦福祉大会	4	国際未亡人連盟国際会議
	4	県補助金17,110,000円、事業委託金89,260,000円 母子及び父子家庭児童中学生へ祝品贈呈、知事より万年筆を贈る 母子家庭などの心のふれあい事業（国民宿舎利用時補助大人2,200円、子ども1,700円）	6	「母子福祉法」を「母子及び寡婦福祉法」と改称
			10	九州地区母子寡婦福祉大会（宮崎県）
			11	全国母子寡婦福祉研究大会（東京・久保講堂）

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
	7	お母さん旅行（飛騨高山）		
	8	母子寡婦の実態と意識調査を県母連にて実施する		
	10	紅葉会発足		
	11	母子大運動会（吉野公園）		
1982年 昭和57年	2	県母子寡婦福祉大会	9	「全国母子寡婦福祉団体協議会」に会名を変更
	4	県補助金 16.949.000 円、委託事業費 12.460.000 円	10	介護人派遣事業を父子家庭にも拡大実施 九州地区母子寡婦福祉研究大会（長崎県）
	7	お母さん旅行（広島・宮島）	11	全国母子寡婦福祉大会（東京・ゆうぼうと）
	10	母子寡婦大運動会（鹿児島経済大学）		母子及び寡婦福祉法施行及び母子福祉資金貸付 制度発足
1983年 昭和58年	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	8	全国母子世帯等調査（厚生省）
	4	県補助金 17.428.000 円、委託事業費 11.701.000 円 寡婦の社会参加促進メニュー事業始まる（寡婦の生き がい対策事業を名称内容ともに変更） 社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会に会名変更	9	全国母子寡婦福祉研究大会（大阪市）
	7	お母さん旅行（萩・津和野）	10	九州地区母子寡婦福祉大会（熊本県）
	10	母子寡婦大運動会（吉野公園）		
1984年 昭和59年	2	創立 30 周年記念県母子寡婦福祉大会開催 （鹿児島市民文化ホール）	5	厚生省昭和 58 年度「全国母子世帯等調査結果 の概要」発表。離婚による母子世帯数が死別家 庭数をはじめて上回る。
	4	県補助金 17.337.000 円、委託事業費 12.359.000 円	6	厚生省、日本長寿世界一と発表
	6	「児童扶養手当改正について」語る会、母子家庭代表者 が発起人となり要望書を提出	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会
	7	お母さん旅行（湯布院・国東半島）	11	全国母子寡婦福祉大会（東京・ゆうぼうと）
1985年 昭和60年	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	6	「男女雇用機会均等法」公布
	4	県補助金 14.800.000 円、委託事業費 12.390.000 円	8	児童扶養手当法改正・児童扶養資金の創設
	5	創立 30 周年記念誌「風雪三十年」を発行	8	創立 35 周年記念季刊「母子展望」創刊 （1987 年第 8 号まで）
1986年 昭和61年	10	「戸川昌子チャリティショー」より 204.000 円の寄 贈受く	10	九州地区母子寡婦福祉大会（沖縄県）
		お母さん旅行（沖縄）	11	創立 35 周年記念全国母子寡婦福祉大会 （東京・ゆうぼうと）
		母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	4	「男女雇用機会均等法」施行
1987年 昭和62年	4	県補助金 13.634.000 円、委託事業費 10.551.000 円	10	介護人派遣事業の派遣対象を寡婦にも拡大実施 九州地区母子寡婦福祉大会（福岡市）
	6	お母さん旅行（台湾）	11	全国母子寡婦福祉研修大会（東京・九段会館）
	7	「きものとふれあいの会」離島と大隅地区を除く市町村 が参加（サンロイヤルホテル）		
	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
1987年 昭和62年	12	事務局就業規程審議会（福祉センター） 県母子寡婦福祉連合会会旗を作成		
	2	県母子寡婦福祉大会	10	九州地区母子寡婦福祉大会（佐賀県）
	4	県補助金 13.221.000 円、委託事業費 12.117.000 円		全国母子寡婦福祉大会へ 7 名参加
	6	第 1 回ソーイングセミナー開催、野崎講師（県福祉セ ンター） センター消防訓練（県福祉センター）		（東京・九段会館）

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1988年 昭和63年	7	厚生省課長来局		
	8	大島紬「藤絹」と事業部との話し合い		
	9	「婦人の船」中国旅行に5名参加 お母さん旅行（東北地方）		
	11	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	2	県婦人問題懇話会（県庁にて意見交換）
	4	県補助金 15,250,000 円、委託事業費 11,179,000 円	3	4月1日改正新マル優制度説明会に20名参加 （県福祉センター）
	5	特別相談（相談室）徳田弁護士	4	労働基準法改正施行 母子家庭自立促進基盤事業発足
	6	編物教室開講（県福祉センター）佐伯講師 お母さん旅行（シンガポール）	7	「全母子協ニュース」発行
	10	お母さん旅行（信州） 母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	10	全国母子寡婦福祉研究集会（東京・九段会館） 九州地区母子寡婦福祉研究大会（大分県）
	11	母子家庭研修会（県婦人会館）	11	全国母子世帯等調査（厚生省）
	1989年 平成元年	1	県文化センター売店移転（センター内での場所移動）	1
2		黒武者キミ子理事長が第26回南日本社会教育賞受賞 県母子寡婦福祉大会	4	消費税3%導入
3		京都府から視察	10	全国母子寡婦福祉大会（東京・サンパール荒川） 九州地区母子寡婦福祉大会（北九州市）
4		県補助金 15,253,000 円、委託事業費 12,188,000 円		
5		母子家庭就労調査の実施		
6		研修部会を県下各地域において開催		
9		お母さん旅行（北海道）		
11		母子父子寡婦大運動会（吉野公園）		
2		県母子寡婦福祉大会	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（宮崎県）
4		県補助金 14,806,000 円、委託事業費 13,260,000 円	11	創立40周年記念全国母子寡婦福祉研修大会 （東京・ゆうぼうと）2,000人余が参加
5		特別相談（事務局）徳田弁護士		
9	母子・寡婦・父子家庭実態調査 たすけあい資金担当者会（県福祉センター） お母さん旅行（倉敷・四国）			
10	母子父子寡婦大運動会（吉野公園）			
11	創立40周年記念全国母子寡婦福祉大会において黒武者 理事長が表彰を受く（東京・ゆうぼうと）また、同大会において藤井玲子氏が体験発表 母子家庭リーダー研修会、各市町村から母子リーダー 2名ずつが出席（県青少年会館）			
1991年 平成3年	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	1	母子寡婦福祉法改正施行
	4	県補助金 15,003,000 円、委託事業費 13,825,000 円 九州地区大会実行委員会（県福祉センター）	10	九州地区母子寡婦福祉大会（鹿児島県） 全国母子寡婦福祉大会（東京・品川きゅりあん）
	5	九州地区大会についての指宿市関係者との打ち合わせ （指宿市）		
	7	第1回若星の集い（県婦人会館）150名が参加 講師桑畑美沙子氏		
	10	第38回九州地区母子寡婦福祉大会を開催 （指宿市体育館）3,000名参加 母子父子寡婦大運動会（雨天のため中止）		

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1992年 平成4年	2	「装いのつどい」開催（自治会館）講話・介護の発表、 ワープロ・編物・和裁・洋裁の合同発表	4	育児休業等に関する法律施行
	4	県補助金 13,439,000 円、委託事業費 13,838,000 円	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（熊本県） 全国母子寡婦福祉大会（東京・品川きゅりあん）
	7	お母さん旅行（山陰地方）		
	10	たすけあい資金監査（県社会福祉センター）		
	11	母子父子寡婦大運動会		
1993年 平成5年	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	6	離婚は過去最高、出生数は過去最低を記録（厚生省）
	4	県補助金 13,623,000 円、委託事業費 13,682,000 円	7	全国母子寡婦団体実態調査
		日中友好お母さん旅行（中国上海・蘇州）110 名参加	8	全国母子世帯等調査（厚生省）
	10	40 周年記念母子父子寡婦大運動会（吉野公園）	9	全国母子寡婦福祉大会（滋賀県）
		10	九州地区母子寡婦福祉大会（長崎県）	
		12	短時間労働者の雇用管理の改善等に関する法律（パートタイム労働法）	
1994年 平成6年	2	創立 40 周年記念県母子寡婦福祉大会（市民文化ホール） 2,000 名参加	3	厚生省「21 世紀福祉ビジョン」策定
	4	県補助金 13,701,000 円、委託事業費 13,681,000 円	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（沖縄県） 全国母子寡婦指導者研修大会（沖縄県）
	6	創立 40 周年記念誌「風雪四十年」編集委員会		
	9	全国大会ブンブン討議司会者会議（県青少年会館）		
	10	母子父子寡婦大運動会（吉野公園）		
	11	お母さん旅行（香港・マカオ）27 名参加		
1995年 平成7年	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	1	母子家庭医療費助成制度改正
	4	県補助金 13,126,000 円、委託事業費 14,293,000 円	2	父子家庭に介護人派遣事業開始
	7	お母さん旅行（高野山・南紀白浜）	9	創立 45 周年記念全国母子寡婦福祉大会（石川県）
	10	母子父子寡婦大運動会（吉野公園）	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（福岡県）
1996年 平成8年	1	創立 40 周年記念誌「風雪四十年」発刊	2	第 1 回全国母子リーダー研修会（東京・農協共済ビル）
	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）		
	4	県補助金 16,749,000 円、委託事業費 13,747,181 円 黒武者キミ子理事長が勲五等瑞寶章受章	9	九州地区母子寡婦福祉研究大会（佐賀県）
	7	お母さん旅行（ハワイ）	10	新しい鹿児島県庁舎落成
	10	母子父子寡婦大運動会（吉野公園）	11	全国母子寡婦指導者研修大会（広島市）
	11	新しい県庁舎 18 階展望台にコーヒーショップ「ウエルビー」を開店		
1997年 平成9年	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	2	全国母子リーダー研修会（東京・農協共済ビル）
	4	県補助金 16,651,000 円、委託事業費 9,166,301 円	4	高須ムラ会長就任 消費税 5% となる
	7	お母さん旅行（台湾）		
	10	お母さん旅行（伊豆・鎌倉） 母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（福岡市）
	11	黒武者キミ子理事長県民表彰受章 若星のつどい	11	全国母子寡婦福祉大会（東京・新橋演舞場）
		12	「介護保険法」成立（2000 年度スタート）	
1998年 平成10年	2	県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	2	全国母子リーダー研修会（東京・千代田公会堂）
	4	県補助金 14,073,000 円、委託事業費 9,741,590 円	5	婚外子への児童扶養手当、認知後でも支給
	11	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	8	児童扶養手当の所得制限引き下げ

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
1999年 平成11年	11	若星のつどい（県婦人会館） お母さん旅行（東北地方）	10	「母子家庭就労実態調査」発行 フクシ株式会社倒産・株式会社母子福祉増進会 設立 九州地区母子寡婦福祉研究大会（大分県）
			11	全国母子世帯等調査（厚生省）
	2	第45回県母子寡婦福祉大会（中央公民館）	6	男女共同参画基本法施行
	4	県補助金12,390,000円、委託事業費10,747,000円	9	第1回全国母子部長会議を開催（日本青年会館）
	5	お母さん旅行（ソウル）	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（北九州市）
	8	若星のつどい		
	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
	11	県母子寡婦福祉大会を始良町で開催		
2000年 平成12年	4	県補助金12,349,000円、委託事業費8,864,890円	2	全国母子リーダー研修会（エデュカス東京）
	8	第10回若星のつどい開催	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（宮崎県）
	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	11	創立50周年記念全国母子寡婦福祉大会 （東京・ゆうぽうと）
	11	県母子寡婦福祉大会を川内市で開催 お母さん旅行（箱根）		日本女性会議2000津（津市）
2001年 平成13年	4	県補助金12,304,000円、委託事業費9,065,240円	3	全国母子リーダー研修会
	5	黒武者キミ子理事長が全国母子寡婦福祉団体協議会会 長に就任	9	全国母子寡婦福祉研究大会（和歌山県） 日本女性会議2001みと（水戸市）
	9	お母さん旅行 第48回九州地区母子寡婦福祉研究大会を開催 （鹿児島市民文化ホール）	11	全国母子部長会議
	10	母子寡婦父子大運動会		
2002年 平成14年	4	県補助金11,235,000円、委託事業費10,120,000円	2	全国母子リーダー研修会（エデュカス東京）
	5	お母さん旅行（中国）	3	厚生労働省が「母子家庭等自立支援対策大綱」 を公表
	8	県母子寡婦福祉連合会「若星会」を設立する （会長丸野充子氏、副会長小緑絹代氏）	6	県内児童扶養手当受給者数を県が調査
	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	8	児童扶養手当制度の見直し
	11	県母子寡婦福祉大会を和泊町で開催	10	日本女性会議2002あおもり（青森市） 全国母子寡婦福祉研究大会（熊本県）
2003年 平成15年	2	創立50周年記念出版「私たちの歌が聞こえる・第2集」 の原稿募集を開始		第4回全国母子部長会議
	4	県補助金9,225,000円、委託事業費13,100,000円	2	「母子及び寡婦福祉法」の一部改正
	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	4	「母子家庭等就労支援対策事業」を県が創設 「母子家庭の母の就業支援に関する特別措置法」 の実施
	11	「母子家庭等就業自立支援センター」を県より委託開設 創立50周年記念出版「私たちの歌が聞こえる・第2集」 ならびに復刻版第1集を発刊	8	全国母子寡婦福祉大会（福井県）
			9	日本女性会議2003おおつ（大津市）
		10	九州地区母子福祉研究大会	
2004年 平成16年	4	県補助金8,861,000円、委託事業費9,901,300円	2	全国母子部長会議
	10	母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	10	九州地区母子寡婦福祉研究大会（沖縄県）
	11	県母子寡婦福祉大会を中種子町で開催		

年次	月	鹿児島県母子寡婦福祉連合会の軌跡	月	国・県の動き
2005年 平成17年		会員数 7,064 人		自立支援プログラムによる支援強化
	4	県補助金 8,861,000 円、委託事業費 7,613,000 円	10	九州地区母子寡婦福祉研修大会（福岡県）
	10	県母子寡婦父子大運動会（吉野公園）	11	全国母子寡婦福祉研修大会（茨城県）
	11	県母子寡婦福祉大会（鹿屋市文化会館）		
2006年 平成18年		会員数 6,210 人		児童扶養手当の減額率緩和要望署名活動
	4	県補助金 8,861,000 円、県委託料 8,160,760 円	10	九州地区母子寡婦福祉研修大会（佐賀県）
	6	お母さん旅行（北海道）	10	全国母子寡婦福祉研修大会（札幌市）
	10	県母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
2007年 平成19年		会員数 5,661 人		「福祉から雇用へ」推進5か年計画開始
	1	県母子寡婦福祉研修大会（鹿児島県民交流センター）	10	九州地区母子寡婦福祉研修大会（福岡市）
	4	県補助金 8,861,000 円、県委託料 7,757,000 円	10	全国母子寡婦福祉研修大会（徳島県）
	10	県母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
	11	県母子寡婦福祉研修大会（鹿児島県民交流センター）		
2008年 平成20年		会員数 5,198 人		公益法人制度改革施行
	4	県補助金 8,861,000 円、県委託料 8,185,516 円	10	九州地区母子寡婦福祉研修大会（大分県）
	8	県母子寡婦福祉研修大会（鹿児島県民交流センター）	10	全国母子寡婦福祉研修大会（京都府）
	9	県母子寡婦父子大運動会（吉野公園）		
2009年 平成21年		会員数 4,620 人		民主党政権交代
	4	県補助金 8,861,000 円、委託事業費 8,035,570 円		九州地区母子寡婦福祉研修大会（北九州市）
	9	県母子寡婦福祉研修大会（鹿児島県民交流センター） 県母子寡婦父子大運動会（吉野公園雨天中止）（各地区で開催）		全国母子寡婦福祉研修大会（北九州市）
	11	自分へのご褒美1泊旅行（錦江高原ホテル）		
2010年 平成22年		会員数 4,362 人		父子家庭の父にも児童扶養手当支給
	4	県補助金 8,861,000 円、委託事業費 7,598,334 円	10	九州地区母子寡婦福祉研修大会（宮崎県）
	8	母子寡婦福祉研修大会（鹿児島県民交流センター）	10	全国母子寡婦福祉研修大会（東京都）「創立 60 周年記念大会」
	9	県母子寡婦父子大運動会（鹿児島国際大学）		
2011年 平成23年		会員数 3,997 人		3.11 東日本大震災発生
		県補助金 9,861,000 円、委託事業費 6,876,854 円	10	九州地区母子寡婦福祉研修大会（鹿児島県）
	10	第 58 回九州地区母子寡婦福祉研修大会開催（鹿児島市民文化ホール）	10	全国母子寡婦福祉研修大会（三重県）
	11	県母子寡婦父子大運動会（鹿児島国際大学）		
2012年 平成24年		会員数 3,711 人		民法における養育費等の取決めの明確化
	4	県補助金 9,861,000 円、委託事業費 6,496,038 円		母子家庭の母の就業に関する特別措置法恒久化
	6	県母子寡婦福祉研修大会（鹿児島市民文化ホール、担当曾於地区）	9	九州地区母子寡婦福祉研修大会（熊本県）
	11	第 1 回県グラウンドゴルフ大会	10	全国母子寡婦福祉研修大会（山口県）
	11	県母子寡婦父子大運動会（鹿児島国際大学）		
2013年 平成25年		会員数 3,389 人		子供の貧困対策の推進に関する法律施行
	4	県補助金 9,861,000 円、委託事業費 6,373,413 円		九州地区母子寡婦福祉研修大会（沖縄県）
	9	県母子寡婦福祉研修大会（創立 60 周年記念メモリアル大会 鹿児島市民文化ホール 担当肝属地区）	10	全国母子寡婦福祉研修大会（群馬県）